

客先名:				□試運転 / □点検 チェックリスト			実施日 年 月 日			
型式	Ver.	号機	製造番号	DABグループ	IPアドレス	実施担当者				
仕様確認: □給水弁 □ヒーターユニット □加圧ユニット *OP:任意仕様 □脱気ユニット □漏水検知センサ □循環消毒ユニット										
関連装置: □DAD- □DRY- □DAM- □装置間連携 □装置間バックアップ □DSB- □DRY- □DRH- □ その他()										
微粒子濾過 フィルターユニット		有・無	台数	メーカー名	型式	使用フィルター	ROメーカー	RO型式	RO製造番号	
据付情報	配管材料	透析ライン		透析室フロア	階	漏水センサ	□透析室 □機械室	自家発電	□100V □200V	
	給水ライン			機械室フロア	階					
	透析液配管引回し		シングルパス・ループ・その他()					系統数		
No	項目				基準				チェック	
配管・配線										
1	安全標識				装置の注意・表示ラベルが読みとれること					
2	供給装置接続配管部に液漏れが無い事				給水・送液・排液・薬液・原液ラインにて液漏れなきこと					
3	電源ケーブル				ケーブル接続図通りに接続 圧着端子部に不良なきこと 端子台の締め付けに緩みなきこと アースラインが正しく接続されていること					
4	信号・LANケーブル				ケーブル接続図通り接続され、正しく工程連動できること					
5	バッテリーコネクタの接続				パワーユニットにバッテリーケーブルのコネクタが接続されていること					
6	電源電圧				制御電源	TB1 L-N間	AC100V±10%		V	
						TB1 N-G間	AC1V以下		V	
					ヒータ電源	TB2 R-S-T間	AC200V±10%		V	
7	冷却ファンフィルタ				フィルタに破損、汚れ等のないこと					
8	LCD、タッチパネル				LCD表示の文字が認識でき、スイッチが作動すること					
9	付属文書など				必要な書類がすべて揃っていること(Verの一致等)					
通水チェック(通常モード:洗浄工程)										
10	ミキシングチャンバスリブ確認				給水流量5~10L/minの場合は付属の内径8φスリーブに変更する					
11	配管部液漏れチェック				漏れがないこと					
12	増し締め(袋ナット/ハウジング部):熱水使用時は、冷却後実施				実施箇所は、DAB-Si 保守点検マニュアル記載の定期点検項目を参照					
13	給水圧確認				減圧弁入口	DAB-50Si 100~300kPa		kPa		
						DAB-70Si 150~300kPa		kPa		
14	流量弁調整				DAB-50Si 5~14L/minヒータ無し:半開 14~27L/minまたはヒータ有り:全開				DAB-Si設置管理基準書 第4章 試運転項目参照	
15	減圧弁調整 装置台数と透析液流量を計算のこと				50Si:5~27L/min 70Si:25~37L/min				L/min	
16	送液圧調整				装置データ	送液リリーフ弁にて調整				kPa
17	UFフィルターユニット				入口圧	ユニット取付圧力計にて確認				kPa
	※任意関連装置				出口圧	ユニット取付圧力計にて確認				kPa
18	脱気圧確認(装置データ)				*OP	-550mmHg前後であること				mmHg
19	薬液注入ポンプストローク設定(ダイヤル)				50Si 5~10L/min:25 10~14L/min:50 14~21L/min:75				設定値	
	給水流量に応じて薬液注入ポンプストロークを設定する				50Si 21~27L/minおよび70Si:100					
20	薬液消毒部				「調整番号 5.1.」				薬液消毒動作と薬液注入量(薬液タリ目盛)を確認する	
動作チェック(通常モード:液置換→透析準備→透析工程)										
21	温度制御の動作確認				*OP	透析液温度が目標温度前後であること				
22	原液注入ライン背圧弁確認				B原液注入ポンプ背圧弁	Min圧:30~35kPa 保持圧:30kPa以上/3s				kPa
					A原液注入ポンプ背圧弁					kPa
	※東亜DKK AHI,BHIから原液を供給する場合				Min圧:45~50kPa 保持圧:45kPa以上/3s				kPa	
23	異常音、異臭				異常音、異臭がないこと					
24	逆流検知電圧確認				B原液	装置データ				V
					A原液	装置データ				V
					消毒液	装置データ				V
					酸洗浄液	装置データ				V
25	日時確認				画面表示の日付、曜日、時刻が現在と合っていること					
26	設定確認				要求通りの設定が入力されていること					
動作チェック(指示・警報)(透析工程)										
27	警報確認				原液減警報 薬液減警報 バイパス警報					
動作チェック										
28	動作確認				各工程動作が一致していること				DAB-各監視装置 DAB-各溶解装置 *OP DAB-DRH-50C(クエン酸熱水消毒が正常に行われること) *OP DAB-RO装置(給水管熱水が正常に行われること)	
29	配管自己診断・濃度自己診断				自己診断結果に異常が無いこと					
30	透析用監視装置透析液置換の確認				透析用監視装置末端までの透析液置換時間				min	

バックアップ機能										
31	バックアップ運転				スムーズにバックアップ運転が行えること					
32	装置間バックアップ				*OP	片側のDABにて全ての透析監視装置が、透析運転可能であること				
洗浄・消毒										
33	洗浄・消毒の実施				自動運転に入れ、洗浄・消毒を実施する					
34	RO装置給水時間およびウィークリータイマーの確認				供給装置作動時間に給水がされ、軟水再生などに影響がないこと					
35	異音・異臭・液漏れ				洗浄・消毒中に異音・異臭・液漏れがないこと					
36	外装の確認				カバー等外装に破損がないこと					
濃度調整										
原液No.	原液	濃度表示	警報中点	ポンプスピード	測定値					
1	B液	mS/cm	mS/cm		Na	K	Cl	HCO ₃	B	透
	透析液	mS/cm	mS/cm		mEq/L	mEq/L	mEq/L	mmol/L	mOsm/kg	mOsm/kg
	貯槽	mS/cm	—	—	使用原液:				—	—
	バックアップ運転 濃度表示、警報中点、ポンプスピードが通常運転と変わらないこと									
2	B液	mS/cm	mS/cm		Na	K	Cl	HCO ₃	B	透
	透析液	mS/cm	mS/cm		mEq/L	mEq/L	mEq/L	mmol/L	mOsm/kg	mOsm/kg
	貯槽	mS/cm	—	—	使用原液:				—	—
	バックアップ運転 濃度表示、警報中点、ポンプスピードが通常運転と変わらないこと									
3	B液	mS/cm	mS/cm		Na	K	Cl	HCO ₃	B	透
	透析液	mS/cm	mS/cm		mEq/L	mEq/L	mEq/L	mmol/L	mOsm/kg	mOsm/kg
	貯槽	mS/cm	—	—	使用原液:				—	—
	バックアップ運転 濃度表示、警報中点、ポンプスピードが通常運転と変わらないこと									
薬液設定										
	使用薬剤名	原液濃度	希釈倍率	循環	2位置	充填1(70Si)	充填2	充填3	下限警報点	
消毒剤		%	倍	倍	倍	倍	倍	倍	mS/cm	
クエン酸		%	倍						電導度表示	
酸系洗浄剤		%	倍						mS/cm	
自動運転プログラム・ウィークリータイマ										
自動運転プログラム										
自動1	工程時間									
自動2	工程時間									
自動3	工程時間									
自動4	工程時間									
自動5	工程時間									
自動6	工程時間									
休洗1	工程時間									
休洗2	工程時間									
ウィークリータイマ										
	透析開始1		透析開始2		透析開始3					
	工程	時間	工程	時間	工程	時間				
月	自動	:	自動	:	自動	:				
火	自動	:	自動	:	自動	:				
水	自動	:	自動	:	自動	:				
木	自動	:	自動	:	自動	:				
金	自動	:	自動	:	自動	:				
土	自動	:	自動	:	自動	:				
日	自動	:	自動	:	自動	:				
連絡事項:					上記作業完了を証明します。		検 収 者			
※配管・配線図・通信設定リスト別途添付					年 月 日		印			
使用管理計測機器（圧力計）:										
使用管理計測機器（デジタルマルチメータ）:										
使用管理計測機器（ ）:										

客先名:			□試運転 / □点検 チェックリスト				実施日			
							年 月 日			
型式		製造 番号	①	②	③	④	⑤			
DCS-200Si										
通信システム:		IPアドレス								
		DABグループ/装置番号	/	/	/	/				
仕様確認:			<input type="checkbox"/> ダブルIP <input type="checkbox"/> Bvplus <input type="checkbox"/> 補液荷重計ヒーターユニット <input type="checkbox"/> 漏水検知器 <input type="checkbox"/> 薬液循環 <input type="checkbox"/> 余液受け <input type="checkbox"/> 透析液出口圧 <input type="checkbox"/> BV計 <input type="checkbox"/> Na注入 <input type="checkbox"/> ReMS <input type="checkbox"/> ダイアライザー血液入口圧 <input type="checkbox"/> ICカードリーダ ・血圧計: <input type="checkbox"/> 日本光電/ <input type="checkbox"/> オムロン ・透析液ポート: <input type="checkbox"/> Aポート/ <input type="checkbox"/> Cポート				実施担当者			
No.	項目 ※試運転の点検項目は白枠内 ※点検時は全項目		基準		番号	①	②	③	④	⑤
					Type					
					Ver.					
					号機	号機	号機	号機	号機	
外観、予備品、付属品										
1	安全標識装置の注意・表示ラベル		装置の注意・表示ラベルが読みとれること							
2	ダイアライザーホースの状態		出口(青)側、戻口(赤)側が正しく接続され、フィルタ等に緩みの無いこと							
3	カットールの取付		正しく取り付けられていること							
4	給排水取付、給水フィルタ状態確認		ホースの折れ、フィルタの緩みが無く、確実に接続されていること							
5	電源ケーブル・工程信号(連動時)の状態		確実に接続され、傷・腐食等ないこと							
6	バッテリーコネクタの接続		パワーユニットにバッテリーケーブルのコネクタが接続されていること							
7	接地抵抗(JIS T 0601-1 18. f)		電源プラグの接地刃と等電位接地端子間: 0.2Ω以下			Ω	Ω	Ω	Ω	Ω
			電源プラグの接地刃とヒータハウジング間: 0.2Ω以下			Ω	Ω	Ω	Ω	Ω
8	外部表示灯		調整モードにて、LED(4色)が順次点灯すること							
9	外装の確認		カバー等外装に傷や破損がないこと							
10	付属文書など		必要な書類がすべて揃っていること(Verの一致等)							
通水チェック(通常モード: 洗浄工程)										
11	配管部液漏れチェック		各パーツで漏れないこと							
12	増し締め(袋ナット・フィルタ): 熱水使用時は、冷却後実施		DCS-200Si保守点検マニュアル記載の定期点検項目参照							
13	減圧弁調整		Max圧: 35~40kPa Min圧: 10kPa以上 Max圧			kPa	kPa	kPa	kPa	kPa
14	ダイアライザーラインの流れ方向		出口(青)側から戻口(赤)側の方向に液が流れていること							
動作チェック(調整モード)										
15	背圧弁確認(H1,H2)		Max圧: 130kPa以下 H1 Min圧			kPa	kPa	kPa	kPa	kPa
			Min圧: 80~85kPa H2 Min圧			kPa	kPa	kPa	kPa	kPa
			保持圧: 80~85kPa以内で保持すること(3s間)							
16	リリーフ弁確認(L)		Max圧(液圧0mmHg): 40~45kPa Max圧			kPa	kPa	kPa	kPa	kPa
17	漏血検出器電圧調整 調整番号「9.1」(緑) (赤)		2.5V±0.1V (緑)			V	V	V	V	V
			2.5V±0.1V (赤)			V	V	V	V	V
18	気泡検出器電圧調整(通常回路) (静脈側) 調整番号「13.5.1-2」 (動脈側)		3.0±0.1V 使用する血液回路にて実施 (静脈側)			V	V	V	V	V
			3.0±0.1V 使用する血液回路にて実施 (動脈側)			V	V	V	V	V
19	血液判別器電圧調整(通常回路) (静脈側) 調整番号「11.9.1」 (動脈側)		3.5±0.3V 使用する血液回路にて実施 (静脈側)			V	V	V	V	V
			3.5±0.3V 使用する血液回路にて実施 (動脈側)			V	V	V	V	V
20	気泡検出器電圧調整(AL回路) (静脈側) 調整番号「13.5.3-4」 (動脈側)		3.0±0.1V 使用する血液回路にて実施 (静脈側)			V	V	V	V	V
			3.0±0.1V 使用する血液回路にて実施 (動脈側)			V	V	V	V	V
21	血液判別器電圧調整(AL回路) (静脈側) 調整番号「11.9.2」 (動脈側)		3.5±0.3V 使用する血液回路にて実施 (静脈側)			V	V	V	V	V
			3.5±0.3V 使用する血液回路にて実施 (動脈側)			V	V	V	V	V
22	大気圧設定(標高入力)※Type AWF.AWD 調整番号「11.13」		標高ボタンを押して、据付場所の標高を入力する			m	m	m	m	m
23	補液ポンプ動作確認 調整番号「13.7」 すき間調整		カバー開→補液ポンプ停止							
			すき間調整治具のφ6.6側で調整							
			20.7±1s(5回転動作時) 6.00L/h			s	s	s	s	s
24	血液ポンプ動作確認 調整番号「13.7」 すき間調整 使用するしごき部径で確認する		カバー開→血液ポンプ停止							
			各施設のチューブ径に合わせる(太径・細径)							
			φ8.0選択: 13±1s(5回転動作時) QB:200mL/min			s	s	s	s	s
φ6.6選択: 9±1s(5回転動作時) QB:200mL/min			s	s	s	s	s			
25	クランプ動作確認 調整番号「13.2」		ブラ・動脈・静脈(制御、保護)を押し、クランプ動作確認							
26	注入ポンプ 調整番号「13.9」		IP注入完了・閉塞のスイッチがONになること							

			号機	号機	号機	号機	号機
27	圧ポッドダイヤフラム位置調整 調整番号「11.14」	治具を取り付け、自動測定スイッチONIにて測定	ml	ml	ml	ml	ml
28	圧ポッド圧漏れチェック ※調整モード配管図にて確認する	治具を取り付け、シリンジにて480～500mmHg加圧する。※基準：測定開始10分後400mmHg以上あること、測定開始30分後の圧力と10分後の圧力の差が±40mmHg以内であること	mmHg	mmHg	mmHg	mmHg	mmHg
		①測定開始10分後圧力	mmHg	mmHg	mmHg	mmHg	mmHg
		②測定開始30分後圧力	mmHg	mmHg	mmHg	mmHg	mmHg
29	血圧計	破損・漏れ・汚れないこと	mmHg	mmHg	mmHg	mmHg	mmHg
	カフ・カフホース						
	圧力確認	0mmHg,150mmHg,300mmHg(誤差±6mmHg以内)					
	外部血圧測定スイッチ	ON表示になること					
	調整番号「19.1-3」	漏れテスト	mmHg	mmHg	mmHg	mmHg	mmHg
	BV計調整 調整番号「20.1-20.6」 *OP	ゼロ・スパン・確認を実施すること					

指示値チェック（通常・調整モード）

30	静脈圧	0mmHg(大気開放)	0±10mmHg					
		200±50mmHg	標準圧力計指示値±10mmHg					
31	ダイヤライザー血液入口圧 ※OP	0mmHg(大気開放)	0±10mmHg					
		200±50mmHg	標準圧力計指示値±10mmHg					
32	透析液出口圧 ※OP	0mmHg(大気開放)	0±10mmHg					
		200±50mmHg	標準圧力計指示値±10mmHg					
33	透析液圧	-200±50mmHg	標準圧力計指示値±10mmHg					
		+200±50mmHg	標準圧力計指示値±10mmHg					
		0mmHg(大気開放)	0±10mmHg					
34	給液圧	0mmHg(大気開放)	0±1kPa (±10mmHg)					
		約+26.7kPa(+200mmHg)	標準圧力計指示値±2kPa (±10mmHg)					

動作チェック(警報・報知)

35	バイパス警報	透析工程以外で供給装置・モニタのバイパス警報動作を確認						
36	工程動作の確認	供給装置の工程と同じ工程動作をすること						
37	停電警報	電源プラグを抜いた時、停電警報動作すること						
	データ保持	画面表示の日付、曜日、時刻が現在と合っていること						
38	ナースコール報知 *OP	ナースコール報知動作すること						

動作チェック(通常モード:洗浄→液置換→透析工程)

39	自己診断実施(マイクロコンピュータ、血液系)	正常終了すること						
40	自己診断実施(配管系)	正常終了すること						
41	バランステスト(大気開放or透析液圧0mmHg)	±5mL以内/10min (±10cm以内/10min φ8ホースの場合)	cm(ml)	cm(ml)	cm(ml)	cm(ml)	cm(ml)	
42	除水ポンプの吐出量	除水速度1.20L/h 100mL±1mL以内 5min±3s以内	ml	ml	ml	ml	ml	
43	非常用バッテリー	バッテリーにより血液ポンプが運転できること						
44	ナトリウム濃度調整 調整番号「8」 *OP	ゼロ調整:ナトリウム注入前の測定値入力 スパン調整:ナトリウム注入後の測定値入力	mEq/L	mEq/L	mEq/L	mEq/L	mEq/L	
45	接地漏れ電流 ※(JIS T 0601-1 19.4 f)	0.5mA以下	μA	μA	μA	μA	μA	
46	余液受け *OP	500mL/minで流し溢れないこと(使用時配置で実施)						
47	設定確認	要求通りの設定1.2.患者データが入力されていること						
48	IPシリンジ設定 設定2-14.1	納入先使用のIPシリンジを確認のうえ入力						
49	洗浄流量アップの遅延時間 設定2-20.3	個々の装置もしくは島ごとに流量アップ遅延時間を設定する。						
50	濃度中点の設定 設定2-27.1	供給装置濃度調整後、濃度表示値を警報中点として入力	mS/cm	mS/cm	mS/cm	mS/cm	mS/cm	
51	血液回路しごき部の設定 設定2-31	納入先使用の血液ポンプしごき部径を入力						

洗浄・消毒

52	洗浄・消毒を行う	洗浄・消毒を実施する						
53	異音・異臭・液漏れ	洗浄・消毒中に異音・異臭・液漏れがないこと						

連絡事項:

	上記作業完了を証明します。	検 収 者	
		印	
年 月 日			

使用管理計測機器(保護導通試験器) :

使用管理計測機器(漏れ電流チェッカ) :

使用管理計測機器(メスリンダ) :

使用管理計測機器(マノメータ) :

使用管理計測機器(圧力計) :

使用管理計測機器() :

使用管理計測機器() :

客先名：		□試運転 / □点検 チェックリスト			実施日 年 月 日		
型式 DBB-200Si		製造番号	①	②	③	実施担当者	
通信システム：	IPアドレス						
	DABグループ/装置番号	/	/	/			
仕様確認：		<input type="checkbox"/> ダブルIP <input type="checkbox"/> Bvplus <input type="checkbox"/> 補液荷重計ヒーターユニット <input type="checkbox"/> 漏水検知器 <input type="checkbox"/> 薬液循環 <input type="checkbox"/> 余液受け <input type="checkbox"/> 透析液出口圧 <input type="checkbox"/> BV計 <input type="checkbox"/> Na注入 <input type="checkbox"/> ReMS <input type="checkbox"/> ダイアライザー血液入口圧 <input type="checkbox"/> ICカードリーダー ・血圧計：□日本光電/□オムロン ・透析液ポート：□Aポート/□Cポート					
No.	項目 ※試運転の点検項目は白枠内 ※点検時は全項目	基準	番号 Type Ver. 号機	① 号機	② 号機	③ 号機	
外観、予備品、付属品							
1	安全標識	装置の注意・表示ラベルが読みとれること					
2	ダイアライザーホースの状態	ホース、フィルタに汚れ・漏れ等ないこと 正しく接続されていること ・装置側接手(青色)とダイアライザーカップリング(青色) ・装置側接手(赤色)とダイアライザーカップリング(赤色)					
3	微粒子ろ過フィルタ取付	適切に取り付けること					
4	薬液注入ラインの状態	ホース、フィルタに汚れ・漏れ等ないこと					
5	給排水取付	ホースの折れが無く、確実に接続されていること					
6	電源ケーブル・工程信号(R0連動時)の状態	確実に接続され、傷・腐食等ないこと					
7	バッテリーコネクタの接続	パワーユニットにバッテリーケーブルのコネクタが接続されていること					
8	接地抵抗 (JIS T 0601-1 18. f) *電源回路や安全上重要な回路の作業時実施	電源プラグの接地刃と等電位接地端子間：0.2Ω以下 電源プラグの接地刃とヒータハウジング間：0.2Ω以下		Ω	Ω	Ω	
9	外部表示灯	調整モードにて、LED (4色) が順次点灯すること					
10	外装の確認	カバー等外装に破損がないこと					
11	付属文書など	必要な書類がすべて揃っていること (Verの一致等)					
通水チェック (通常モード：洗浄工程)							
12	透析液の流れ方向確認および配管部の液漏れ確認	ダイアライザーホース内の透析液の流れ方向確認 装置側接手(赤色)にエアが吸い込まれること 各パーツで漏れがないこと					
13	増し締め(袋ナット/ハウジング部)：熱水使用時は、その後実施	実施箇所は、保守点検マニュアル第5章 点検方法5-15頁 5. 接手部などの増し締め 参照					
14	減圧弁調整	Max圧：45～50kPa Min圧：10kPa以上	Max圧	kPa	kPa	kPa	
動作チェック (調整モード)							
15	背圧弁確認 (H1, H2)	Max圧：130kPa以下 Min圧：80～85kPa 保持圧：80～85kPa以内で保持すること (3s間)	H1 Min圧 H2 Min圧	kPa	kPa	kPa	
16	リリーフ弁確認 (L)	Max圧(液圧0mmHg)：40～45kPa	Max圧	kPa	kPa	kPa	
17	漏血検出器電圧調整 調整番号「9.1」 (緑) (赤)	2.5V±0.1V (緑) 2.5V±0.1V (赤)		V	V	V	
18	気泡検出器電圧調整 (通常回路) (静脈側) 調整番号「13.5.1-2」 (動脈側)	3.0±0.1V 使用する血液回路にて実施 (静脈側) 3.0±0.1V 使用する血液回路にて実施 (動脈側)		V	V	V	
19	血液判別器電圧調整 (通常回路) (静脈側) 調整番号「11.9.1」 (動脈側)	3.5±0.3V 使用する血液回路にて実施 (静脈側) 3.5±0.3V 使用する血液回路にて実施 (動脈側)		V	V	V	
20	気泡検出器電圧調整 (AL回路) (静脈側) 調整番号「13.5.3-4」 (動脈側)	3.0±0.1V 使用する血液回路にて実施 (静脈側) 3.0±0.1V 使用する血液回路にて実施 (動脈側)		V	V	V	
21	血液判別器電圧調整 (AL回路) (静脈側) 調整番号「11.9.2」 (動脈側)	3.5±0.3V 使用する血液回路にて実施 (静脈側) 3.5±0.3V 使用する血液回路にて実施 (動脈側)		V	V	V	
22	大気圧設定 (標高入力) ※Type OP 調整番号「11.13」	標高ボタンを押して、据付場所の標高を入力する		m	m	m	
23	補液ポンプ動作確認 調整番号「13.7」 すき間調整	カバー開→補液ポンプ停止 すき間調整治具のφ6.6側で調整 20.7±1s (5回転動作時) 6.00L/h		s	s	s	
24	血液ポンプ動作確認 調整番号「13.7」 すき間調整 使用するしごき部径で確認する	カバー開→血液ポンプ停止 各施設のチューブ径に合わせる (太径 ・ 細径) φ8.0選択：13±1s (5回転動作時) QB:200mL/min φ6.6選択：9±1s (5回転動作時) QB:200mL/min		s	s	s	
25	クランプ動作確認 調整番号「13.2」	ブラ・動脈・静脈(制御、保護)を押し、クランプ動作確認					
26	注入ポンプ 調整番号「13.9」	IP注入完了・閉塞のスイッチがONになること					
27	圧ポッドダイヤフラム位置調整 調整番号「11.14」	治具を取り付け、自動測定スイッチONにて測定					
28	圧ポッド圧漏れチェック ※調整モード配管図にて確認する	治具を取り付け、シリンジにて480～500mmHg加圧する。※基準：測定開始10分後400mmHg以上あること、測定開始30分後の圧力と10分後の圧力の差が±40mmHg以内であること ①測定開始10分後圧力 ②測定開始30分後圧力 ③圧力差(①-②)		mmHg	mmHg	mmHg	

			号機	号機	号機
29	血圧計	カフ・カフホース	破損・漏れ・汚れないこと		
		圧力確認	0mmHg, 150mmHg, 300mmHg (誤差±6mmHg以内)	mmHg	mmHg
		外部血圧測定スイッチ	ON表示になること		
	調整番号「19.1-3」	漏れテスト	テスト結果が50mmHg以内	mmHg	mmHg
30	BV計調整	調整番号「20.1-20.6」	ゼロ・スパン・確認を実施すること		

濃度調整（調整モード）

31	原液番号（ ）（商品名： ）	B液濃度	mS/cm	mS/cm	mS/cm
		透析液濃度	mS/cm	mS/cm	mS/cm
	原液番号（ ）（商品名： ）	B液濃度	mS/cm	mS/cm	mS/cm
		透析液濃度	mS/cm	mS/cm	mS/cm
	原液番号（ ）（商品名： ）	B液濃度	mS/cm	mS/cm	mS/cm
		透析液濃度	mS/cm	mS/cm	mS/cm
	原液番号（ ）（商品名： ）	B液濃度	mS/cm	mS/cm	mS/cm
		透析液濃度	mS/cm	mS/cm	mS/cm
32	ナトリウム濃度調整	調整番号「8」	ゼロ調整：ナトリウム投入前の測定値入力	mEq/L	mEq/L
		*OP	スパン調整：ナトリウム投入後の測定値入力	mEq/L	mEq/L

指示値チェック（通常・調整モード）

33	静脈圧	0mmHg（大気開放）	0±10mmHg		
		200±50mmHg	標準圧力計指示値±10mmHg		
34	ダイヤライザー血液入口圧	0mmHg（大気開放）	0±10mmHg		
	※OP	200±50mmHg	標準圧力計指示値±10mmHg		
35	透析液圧	-200±50mmHg	標準圧力計指示値±10mmHg		
		+200±50mmHg	標準圧力計指示値±10mmHg		
		0mmHg（大気開放）	0±10mmHg		
36	給液圧	0mmHg（大気開放）	0±1kPa（±10mmHg）		
		約+26.7kPa（+200mmHg）	標準圧力計指示値±2kPa（±10mmHg）		

動作チェック（警報・報知）

37	バイパス警報		透析工程以外で、バイパス警報動作すること		
38	停電警報	データ保持	電源プラグを抜いた時、停電警報動作すること		
39	ナースコール報知	*OP	画面表示の日付、曜日、時刻が現在と合っていること		
			ナースコール報知動作すること		

動作チェック（通常モード：洗浄→液置換→透析工程）

40	自己診断実施（マイクロコンピュータ、血液系）		正常終了すること		
41	自己診断実施（配管系）		正常終了すること		
42	バランステスト（大気開放or透析液圧0mmHg）		±5mL以内／10min（±10cm以内／10min φ8ホースの場合）	cm (ml)	cm (ml)
43	除水ポンプの吐出量		除水速度1.20L/h 100mL±1mL以内 5min±3s以内	ml	ml
44	非常用バッテリー		バッテリーにより血液ポンプが運転できること		
45	接地漏れ電流（JIS T 0601-1 19.5 f）		0.5mA以下（500μA以下）	μA	μA
	*電源回路や安全上重要な回路の作業時実施				
46	余液受け	*OP	500mL/minで流し溢れないこと（使用時配置で実施）		
47	設定確認		要求通りの設定1, 2. 患者データが入力されていること		
48	IPシリンジ設定	設定2-14.1	納入先使用のIPシリンジを確認のうえ入力		
49	血液回路しごき部の設定	設定2-31	納入先使用の血液ポンプしごき部径を入力		
50	警報システム選択	設定2-53	納入先の要求に合った設定であることを確認	1・2	1・2

洗浄・消毒

51	消毒（商品名： ）	タンク濃度			
		希釈濃度			
	酸洗浄（商品名： ）	タンク濃度			
		希釈濃度			
52	薬液消毒部		設定された薬液が適切に注入されること		
53	給水管熱水	*OP	DBB-R0装置（給水管熱水が正常に行われること）		
54	洗浄・消毒を行う		洗浄・消毒を実施する		
55	異音・異臭・液漏れ		洗浄・消毒中に異音・異臭・液漏れがないこと		

連絡事項：

上記作業完了を証明します。	検 収 者
年 月 日	印

使用管理計測機器（保護導通試験器）：

使用管理計測機器（漏れ電流チェッカ）：

使用管理計測機器（マスリンダ）：

使用管理計測機器（マノメータ）：

使用管理計測機器（圧力計）：

使用管理計測機器（ ）：

使用管理計測機器（ ）：

客先名：		□試運転 / □点検 チェックリスト			実施日 年 月 日	
型式	製造番号	ソフトウェアバージョン	号機	IPアドレス	実施担当者	
DAD-50NX						
仕様確認： □ 給水加温ヒータ □ 専用の消毒容器 *OP：任意仕様 □ HEPAフィルタユニット						
関連装置： □ DSB-05/06 □ DAB-E □ DAB-NX □ 装置間連携 □ その他（ ）						
次回実施予定日：		前回の実施日：		使用開始日：		
No	項目		基準			チェック
外観・配管・配線						
1	安全標識		装置の注意・表示ラベルが読みとれること			
2	接続配管		損傷・破損・汚れ・硬化等なきこと			
3	配管部液漏れ		給水・送液・排液・薬液・原液ラインにて液漏れなきこと			
4	ケーブルの破損・接続状態		ケーブル接続図通りに接続 圧着端子部に緩み・異常なきこと			
5	敷設状態		電源ケーブルと他の信号ケーブルが分離されていること			
6	電源電圧	制御電源	TB1 L-N間	AC100V±10%		V
			TB1 N-G間	AC1V以下		V
		ヒータ電源	TB3 R-S-T間	AC200V±10%		V
7	パワーユニット冷却ファンフィルタ		フィルタに破損、汚れ等のないこと			
8	HEPAフィルタユニットのフィルタ		*OP	プレ・HEPAフィルタに破損、汚れ等のないこと		
9	LCD、タッチパネル		LCD表示の文字が認識でき、スイッチが作動すること			
10	付属文書など		必要な書類がすべて揃っていること (Verの一致等)			
通水チェック（調整モード）						
11	給水流量調整	「調整モード 5.2. 減圧弁の調整」		給水流量：5～10 L/min		L/min
12	配管部液漏れチェック		漏れがないこと			
13	増し締め(袋ナット/ハウジング部)：熱水使用時は、その後実施		実施箇所は、保守点検マニュアル 第5章 点検方法 5.7. その他の点検項目 参照			
14	各種フィルタの状態		薬液ラインのフィルタ及びETRFに汚れ・漏れ等ないこと			
15	薬液消毒部	「調整モード 5.1. 薬液ポンプの調整」		薬液注入量を実測し、薬液消毒動作を確認する		
動作チェック（通常モード）「メニュー⇒動作確認⇒センサリスト又は配管図」						
16	ストック部/搬送部動作		薬剤ボトルのストックと搬送動作が適切であること			
17	フィッティング動作		「回転・開封」「位置検知」動作が適切であること			
18	攪拌溶解動作（給水・循環・移送）		溶解、配管動作が適切であること			
19	減容動作（空ボトル切断）		減容（切断）動作が正常であること、汚れ等ないこと			
20	洗浄アダプタ動作		洗浄アダプタがフィッティングに確実に装着されること			
21	排液動作		溶解槽及び貯槽の排液が完全に行われること			
22	原液ライン洗浄電磁弁動作		原液ライン洗浄電磁弁が適切に行われること			
23	日時確認		画面表示の日付、曜日、時刻が現在と合っていること			
動作チェック（通常モード）						
24	貯槽原液量低下警報		貯槽原液量低下警報が発生すること			
25	漏水警報		漏水警報が発生すること			
26	中断スイッチ動作		正常に機能し、モニタ画面にメッセージが表示されること			
27	設定確認		作業前の設定になっていること			
洗浄・消毒						
28	洗浄・消毒を行う		洗浄・消毒を実施する			
29	異音・異臭・液漏れ・ひび割れなど		洗浄・消毒中に異音・異臭・液漏れがないこと 配管部品のひび割れ・変色などがなくないこと			
30	外装の確認		カバー等外装に破損がないこと			

客先名：			□試運転 / □点検 チェックリスト				実施日			
							年 月 日			
型式		製造番号	①	②	③	④	⑤			
DCS-100NX										
通信システム：		IPアドレス								
		DABグループ/装置番号	/	/	/	/				
仕様確認： □ DLJ-03 □ 余液受け □ 薬液循環消毒ユニット(クエン酸熱水) □ BV計 □ ナースコール □ クリップ式気泡検出器 □ 推定血流量モニタ □ Na注入 □ ダブルIP □ ダイアライザー血液入口圧 □ 排液ポート *OP：任意仕様 □ DDM □ オーバーフロー □ 漏水検知器 □ 透析液出口圧							実施担当者 			
No.	点検項目 ※試運転の点検項目は白枠内 ※点検時は全項目		基準		番号	①	②	③	④	⑤
					Type					
					Ver.					
					号機					

外観、予備品、付属品										
1	安全標識	装置の注意・表示ラベルが読みとれること								
2	ダイアライザーホースの状態	ホース、フィルタに汚れ・漏れ等ないこと 正しく接続されていること ・装置側接手(青色)とダイアライザーカップリング(青色) ・装置側接手(赤色)とダイアライザーカップリング(赤色)								
3	微粒子ろ過フィルタの取付	適切に取り付けること								
4	給排水取付、給水フィルタ状態確認	ホースの折れが無く、確実に接続されていること								
5	電源ケーブル・工程信号(連動時)の状態	確実に接続され、傷・腐食等ないこと								
6	バッテリーコネクタの接続	パワーユニットにバッテリーケーブルのコネクタが接続されていること								
7	接地抵抗(JIS T 0601-1 18. f) *電源回路や安全上重要な回路の作業時実施	電源プラグの接地刃と等電位接地端子間：0.2Ω以下 電源プラグの接地刃とヒータハウジング間：0.2Ω以下	Ω	Ω	Ω	Ω	Ω	Ω	Ω	Ω
8	外部表示灯	調整モードにて、LED(4色)が順次点灯すること								
9	外装の確認	カバー等外装に破損がないこと								
10	付属文書など	必要な書類がすべて揃っていること(Verの一致等)								

通水チェック(通常モード：洗浄工程)										
11	透析液の流れ方向確認および配管部の液漏れ確認	ダイアライザーホース内の透析液の流れ方向確認 装置側接手(赤色)にエアが吸い込まれること 各パーツで漏れがないこと								
12	増し締め(袋ナット/ハウジング部)：熱水使用時は、その後実施	実施箇所は、保守点検マニュアル 第4章 定期的な保守・点検と保守交換部品 DCS-100NX 定期点検・交換項目 18.その他 参照								
13	減圧弁調整	Max圧：40kPa Min圧：10kPa以上 Max圧	kPa	kPa	kPa	kPa	kPa	kPa	kPa	kPa

動作チェック(調整モード)										
14	背圧弁確認(H1, H2)	Max圧：130kPa以下 H1 Min圧 Min圧：80～85kPa H2 Min圧 保持圧：80～85kPa以内で保持すること(3s間)	kPa	kPa	kPa	kPa	kPa	kPa	kPa	kPa
15	リリーフ弁確認(L)	Max圧(液圧0mmHg)：40～45kPa Max圧 Min圧(液圧-350mmHg)：10kPa以上	kPa	kPa	kPa	kPa	kPa	kPa	kPa	kPa
16	漏血検出器電圧調整 調整番号「9.1」(緑) (赤)	1.50～3.00Vの範囲で2.50Vに近づくように調整 1.50～3.00Vの範囲で2.50Vに近づくように調整	V	V	V	V	V	V	V	V
17	気泡検出器電圧調整 (静脈側) 調整番号「13.5-1,2」 (動脈側)	3.0±0.1V 使用する血液回路にて実施 3.0±0.1V 使用する血液回路にて実施	V	V	V	V	V	V	V	V
18	補液ポンプ動作確認 調整番号「13.7」 すき間調整	カバー開→補液ポンプ停止 すき間調整治具のφ6.6側で調整 20.7±1s(5回転動作時) 6.00L/h	s	s	s	s	s	s	s	s
19	血液ポンプ動作確認 調整番号「13.7」 すき間調整 使用するしごき部径で確認する	カバー開→血液ポンプ停止 各施設のチューブ径に合わせる(太径・細径) φ8.0選択：13±1s(5回転動作時) QB:200mL/min φ6.6選択：9±1s(5回転動作時) QB:200mL/min	s	s	s	s	s	s	s	s
20	血液判別器電圧調整(生食) 調整番号「11.9」	3.5±0.3V	V	V	V	V	V	V	V	V
21	クランプ動作確認 調整番号「13.2」	「OF・ブラ・動脈(制御、保護)」を押し、各クランプが動作すること 「静脈クランプ(制御、保護)」を押し、動作すること								
22	注入ポンプ 調整番号「13.9」	IP注入完了・閉塞のスイッチがONになること								

				号機	号機	号機	号機	号機
23	血圧計	カフ・カフホース	破損・漏れ・汚れないこと					
		圧力確認	0mmHg, 150mmHg, 300mmHg (誤差±6mmHg以内)					
		外部血圧測定スイッチ	ON表示になること					
	調整番号「19.1-3」	漏れテスト	テスト結果が50mmHg以内	mmHg	mmHg	mmHg	mmHg	mmHg
24	BV計調整	調整番号「20.1-20.6」	*OP	ゼロ・スパン・確認を実施すること				

指示値チェック（通常・調整モード）

25	静脈圧	0mmHg（大気開放）	0±10mmHg				
		200±50mmHg	標準圧力計指示値±10mmHg				
26	ダイヤライザー血液入口圧 ※OP	0mmHg（大気開放）	0±10mmHg				
		200±50mmHg	標準圧力計指示値±10mmHg				
27	透析液出口圧 ※OP	0mmHg（大気開放）	0±10mmHg				
		200±50mmHg	標準圧力計指示値±10mmHg				
28	透析液圧	-200±50mmHg	標準圧力計指示値±10mmHg				
		+200±50mmHg	標準圧力計指示値±10mmHg				
		0mmHg（大気開放）	0±10mmHg				
29	給液圧	0mmHg（大気開放）	0±1kPa（±10mmHg）				
		約+26.7kPa（+200mmHg）	標準圧力計指示値±2kPa（±10mmHg）				

動作チェック（警報・報知）

30	バイパス警報	透析工程以外で、バイパス警報動作すること					
31	工程動作の確認	供給装置の工程と同じ工程動作をすること					
32	停電警報	電源プラグを抜いた時、停電警報動作すること					
	データ保持	画面表示の日付、曜日、時刻が現在と合っていること					
33	ナースコール報知	*OP ナースコール報知動作すること					

動作チェック（通常モード：洗浄→液置換→透析工程）

34	自己診断実施（マイクロコンピュータ、血液系）	正常終了すること					
35	自己診断実施（配管系）	正常終了すること					
36	バランステスト（大気開放or透析液圧0mmHg）	±5mL以内/10min（±10cm以内/10min φ8ホースの場合）	cm(ml)	cm(ml)	cm(ml)	cm(ml)	cm(ml)
37	除水ポンプの吐出量	除水速度1.20L/h 100mL±1mL以内 5min±3s以内	ml	ml	ml	ml	ml
38	非常用バッテリー	バッテリーにより血液ポンプが運転できること					
39	ナトリウム濃度調整 調整番号「8」	*0P ゼロ調整：ナトリウム注入前の測定値入力	mEq/L	mEq/L	mEq/L	mEq/L	mEq/L
		スパン調整：ナトリウム注入後の測定値入力	mEq/L	mEq/L	mEq/L	mEq/L	mEq/L
40	接地漏れ電流 (JIS T 0601-1 19.4 f) *電源回路や安全上重要な回路の作業時実施	0.5mA以下 (500μA以下)	μA	μA	μA	μA	μA
41	余液受け	*0P 500mL/minで流し溢れないこと（使用時配置で実施）					
42	設定確認	要求通りの設定1, 2, 患者データが入力されていること					
43	洗浄流量アップの遅延時間 設定2-20.3	個々の装置もしくは島ごとに流量アップ遅延時間を設定する。					
44	濃度中点の設定 設定2-27.1	供給装置濃度調整後、濃度表示値を警報中点として入力	mS/cm	mS/cm	mS/cm	mS/cm	mS/cm

洗淨・消毒

45	洗浄・消毒を行う	洗浄・消毒を実施する					
46	異音・異臭・液漏れ	洗浄・消毒中に異音・異臭・液漏れがないこと					

連絡事項:	上記作業完了を証明します。	検 収 者
	年 月 日	印

使用管理計測機器(保護導通試驗器)：

使用管理計測機器(漏れ電流チェッカ)：

使用管理計測機器(メスシリンダ) :

使用管理計測機器(マノメータ) :

使用管理計測機器(压力計)：

使用管理計測機器()：

使用管理計測機器() :

Note

Note

客先名：			□試運転 / □点検 チェックリスト			実施日 年 月 日			
型式	Ver.	製造番号	①	②	③				
DBG-03									
仕様確認： *OP：任意仕様 □ 血圧計 □ 余液受け □ ナースコール □ クエン酸熱水補助ヒータ □ BV計 □ 脱血圧検出器 □ リンサポート □ 自動ブローD-FAS □ Na注入 □ ダブルIP □ 補液ヒータ □ 補液切れ検出器 □ DSB-05/06 □ 補液ポンプ □ 補液荷重計 □ ダブルCFユニット								実施担当者	
次回実施予定日：		前回の実施日：		使用開始日：				関連装置：	
No.	項目 ※試運転の点検項目は白枠内 ※点検時は全項目		基準			① 号機	② 号機	③ 号機	
外観、予備品、付属品									
1	安全標識		装置の注意・表示ラベルが読みとれること						
2	ヒューズの状態		各ヒューズ問題ないこと						
3	ダイヤライザーホースの状態		ホース、フィルタに汚れ・漏れ等ないこと 正しく接続されていること ・装置側接手(青色)とダイヤライザーカップリング(青色) ・装置側接手(赤色)とダイヤライザーカップリング(赤色)						
4	微粒子ろ過フィルタの状態		EF-02、漏れ・汚れ等ないこと						
5	薬液注入ラインの状態		ホース、フィルタに汚れ・漏れ等ないこと						
6	給排水取付		ホースの折れが無く、確実に接続されていること						
7	電源ケーブル・工程信号の状態		確実に接続され、傷・腐食等ないこと						
8	端子台の増し締め		電源・ヒータケーブル端子台のネジの緩みがないこと						
9	接地抵抗 (JIS T 0601-1 18. f)		電源プラグの接地刃と等電位接地端子間:0.2Ω以下 電源プラグの接地刃とヒータハウジング間:0.2Ω以下			Ω	Ω	Ω	
10	装置背面フィルタの状態		汚れ・損傷のないこと						
11	外部表示灯		調整モードにて、LED（4色）が順次点灯すること						
12	LCD、タッチパネル		LCD表示の文字が認識でき、スイッチが作動すること						
13	外装の確認		カバー等外装に破損がないこと						
14	付属文書など		必要な書類がすべて揃っていること (Verの一致等)						
指示値チェック（通常・調整モード）									
15	静脈圧	0mmHg（大気開放）	0±10mmHg以内						
		200±50mmHg	標準圧力計指示値±10mmHg						
16	ダイヤライザー血液入口圧	0mmHg（大気開放）	0±10mmHg						
		200±50mmHg	標準圧力計指示値±10mmHg						
17	透析液圧	-200±50mmHg	標準圧力計指示値±10mmHg						
		+200±50mmHg	標準圧力計指示値±10mmHg						
		0mmHg（大気開放）	0±10mmHg						
18	給液圧	0mmHg（大気開放）	0±1kPa（±10mmHg）						
		約+26.7kPa（+200mmHg）	標準圧力計指示値±2kPa（±10mmHg）						
19	荷重計	何も吊り下げていない時	0kg±30g						
	*OP	重りを吊り下げた時	重りの質量(約10kg)±30g						
動作チェック（調整モード）									
20	減圧弁調整		Max圧: 45～50kPa Min圧: 10kPa以上		Max圧	kPa	kPa	kPa	
21	背圧弁確認（H1, H2）		Min圧: 80～85kPa		H1 Min圧	kPa	kPa	kPa	
			Max圧: 130kPa以下		H2 Min圧	kPa	kPa	kPa	
			保持圧: 80kPa以上／3s						
22	リリース弁確認（L）		Max圧(液圧0mmHg): 40～45kPa Min圧(液圧-350mmHg): 10kPa以上		Max圧	kPa	kPa	kPa	
23	バランステスト（大気開放or透析液圧0mmHg）および透析液の流れ方向確認		ダイヤライザーホース内の透析液の流れ方向確認 装置側接手(赤色)にエアが吸い込まれること ±5mL以内／10min（±10cm以内／10min φ8ホースの場合）			cm (mL)	cm (mL)	cm (mL)	
24	除水ポンプの吐出量		除水速度1.20L/h 100mL±1mL以内 5min±3s以内			mL	mL	mL	
25	漏血検出器電圧調整	調整番号「9.1」（緑）	1.50～4.50Vの範囲で2.50Vに近づくように調整			V	V	V	
		（赤）	1.50～4.50Vの範囲で2.50Vに近づくように調整			V	V	V	
26	気泡検出器電圧調整	（静脈側）	3.0±0.1V			V	V	V	
	調整番号「13.5-1,2」	（動脈側） *OP	3.0±0.1V			V	V	V	
27	血液ポンプ動作確認		カバー開→血液ポンプ停止						
	調整番号「13.7」		すき間調整:各施設のチューブ径に合わせること						
		使用するしごき部径で確認する	φ8.0選択:13±1s(5回転動作時)QB:200mL/min			s	s	s	
			φ6.6選択:9±1s(5回転動作時)QB:200mL/min			s	s	s	

			号機	号機	号機
28	補液ポンプ動作確認 調整番号「13.7」	*OP	カバー開→補液ポンプ停止 すき間調整		
29	血液判別器電圧調整（生食）	調整番号「11.9」	3.5～4.0V（生食時：表示が緑になること）	V	V
30	気泡検出器クランプ動作確認	調整番号「13.2」	「静脈クランプ（制御、保護）」を押し、動作すること		
31	自動プライミング動作確認	調整番号「13.2」	*OP「自動クランプ（制御）」を押し、動作すること		
32	注入ポンプ	調整番号「13.9」	IP注入完了報知のスイッチがONになること		
33	血圧計	カフ・カフホース	破損・漏れ・汚れがないこと		
	*OP	外部血圧測定スイッチ	ON表示になること		
	調整番号「19.1-3」	漏れテスト	テスト結果が50mmHg以内	mmHg	mmHg
		圧力確認テスト	0mmHg, 150mmHg, 300mmHg：指示値±6mmHg以内		
34	BV計調整	調整番号「20.1.2」	*OPゼロ・スパン・確認		

濃度調整（調整モード）					
35	透析液温度		設定値±0.8℃		
36	濃度（電導度）		B液サンプルの測定値±0.1mS/cm	装置表示 mS/cm	mS/cm
			測定器表示 mS/cm	mS/cm	mS/cm
			透析液サンプルの測定値±0.2mS/cm	装置表示 mS/cm	mS/cm
			測定器表示 mS/cm	mS/cm	mS/cm
37	原液番号（ ）（商品名： ）		B液濃度	mS/cm	mS/cm
			透析液濃度	mS/cm	mS/cm
	原液番号（ ）（商品名： ）		B液濃度	mS/cm	mS/cm
			透析液濃度	mS/cm	mS/cm
	原液番号（ ）（商品名： ）		B液濃度	mS/cm	mS/cm
			透析液濃度	mS/cm	mS/cm
	原液番号（ ）（商品名： ）		B液濃度	mS/cm	mS/cm
			透析液濃度	mS/cm	mS/cm
	原液番号（ ）（商品名： ）		B液濃度	mS/cm	mS/cm
			透析液濃度	mS/cm	mS/cm
38	ナトリウム濃度調整	調整番号「8」	*OPゼロ調整：ナトリウム注入前の測定値入力 スパン調整：ナトリウム注入後の測定値入力	mEq/L	mEq/L

動作チェック（警報・報知）					
39	バイパス警報		透析工程以外で、バイパス警報動作すること		
40	停電警報		電源プラグを抜いた時、停電警報動作すること		
	データ保持		画面表示の日付、曜日、時刻が現在と合っていること		
41	脱血圧警報	*OP	脱血圧警報動作すること		
42	補液切れ警報	*OP	補液切れ警報動作すること		
43	補液ヒータ開警報	*OP	補液ヒータ開警報動作すること		
44	ナースコール報知	*OP	ナースコール報知動作すること		

動作チェック（通常モード：洗浄→液置換→透析工程）					
45	自己診断実施（マイクロコンピュータ、血液系）		正常終了すること		
46	自己診断実施（配管系）		正常終了すること		
47	接地漏れ電流（JIS T 0601-1 19.5 f）		0.5mA以下（500 μ A以下）	μ A	μ A
48	非常運転用バッテリー		バッテリーにより血液ポンプが運転出来ること		
49	余液受け	*OP	500mL/minで流し溢れないこと（使用時配置で実施）		
50	設定確認		作業前の設定になっていること		

洗浄・消毒					
51	消毒（商品名： ）		タンク濃度		
			希釈濃度		
	酸洗浄（商品名： ）		タンク濃度		
			希釈濃度		
52	薬液消毒部		薬液消毒動作が適切に行われること		
53	給水管熱水	*OP	DBG-RO装置（給水管熱水が正常に行われること）		
54	洗浄・消毒を行う		洗浄・消毒を実施する		
55	増し締め（袋ナット/ハウジング部）：熱水使用時は、その後実施		実施箇所は、保守点検マニュアル参照		
56	異音・異臭・液漏れ・ひび割れなど		洗浄・消毒中に異音・異臭・液漏れがないこと 配管部品のひび割れ・変色などがないこと		

連絡事項：		上記作業完了を証明します。	検 収 者		
		年 月 日	印		

使用管理計測機器(保護導通試験器)：	
使用管理計測機器(漏れ電流チェッカ)：	
使用管理計測機器(メスシリンダ)：	
使用管理計測機器(マノメータ)：	
使用管理計測機器(圧力計)：	
使用管理計測機器()：	

チェックリスト		客先名：			□保守点検 □消耗部品交換		実施日		
							年 月 日		
型式		Ver.	製造番号	①	②	③	④	⑤	
DCS-27/28									
仕様確認： *OP：任意仕様 <input type="checkbox"/> 脱血圧検出器									実施担当者
<input type="checkbox"/> 血圧計 <input type="checkbox"/> 余液受け <input type="checkbox"/> Na注入 <input type="checkbox"/> 自動プライミング <input type="checkbox"/> BV計 <input type="checkbox"/> ナースコール <input type="checkbox"/> クリップ式気泡センサー <input type="checkbox"/> 通信 <input type="checkbox"/> ダブルIP <input type="checkbox"/> ダイアライザー血液入口圧 <input type="checkbox"/> D-FAS <input type="checkbox"/> 薬液循環消毒ユニット（クエン酸熱水）									
次回実施予定日：			前回の実施日：			使用開始日：		関連装置：	
No.	項目			基準			①	②	③
							号機	号機	号機
外観、予備品、付属品									
1	安全標識			装置の注意・表示ラベルが読みとれること					
2	ヒューズの状態			各ヒューズ問題ないこと					
3	ダイアライザーホースの状態			ホース、フィルタに汚れ・漏れ等ないこと 正しく接続されていること ・装置側接手(青色)とダイアライザーカップリング(青色) ・装置側接手(赤色)とダイアライザーカップリング(赤色)					
4	φ8フィルタの状態			タイラップ止め、汚れ・漏れ等ないこと					
5	微粒子ろ過フィルタの状態			漏れ・汚れ等ないこと					
6	給排水取付			ホースの折れが無く、確実に接続されていること					
7	電源ケーブル・工程信号（連動時）の状態			確実に接続され、傷・腐食等ないこと					
8	端子台の増し締め			電源・ヒータケーブル端子台のネジの緩みがないこと					
9	接地抵抗 (JIS T 0601-1 18. f)			電源プラグの接地刃と等電位接地端子間：0.2Ω以下 電源プラグの接地刃とヒータハウジング間：0.2Ω以下			Ω	Ω	Ω
10	装置背面フィルタの状態			汚れ・損傷のないこと					
11	外部表示灯			調整モードにて、LED（4色）が順次点灯すること					
12	LCD、タッチパネル			LCD表示の文字が認識でき、スイッチが作動すること					
13	外装の確認			カバー等外装に破損がないこと					
14	付属文書など			必要な書類がすべて揃っていること (Verの一致等)					
指示値チェック（通常・調整モード）									
15	静脈圧	0mmHg（大気開放）	0±10mmHg						
		200±50mmHg	標準圧力計指示値±10mmHg						
16	ダイアライザー血液入口圧	0mmHg（大気開放）	0±10mmHg						
	*OP	200±50mmHg	標準圧力計指示値±10mmHg						
17	透析液圧	-200±50mmHg	標準圧力計指示値±10mmHg						
		+200±50mmHg	標準圧力計指示値±10mmHg						
		0mmHg（大気開放）	0±10mmHg						
18	給液圧	0mmHg（大気開放）	0±1kPa（±10mmHg）						
		約+26.7kPa(+200mmHg)	標準圧力計指示値±2kPa（±10mmHg）						
動作チェック（調整モード）									
19	減圧弁調整	Max圧：40kPa Min圧：10kPa以上	Max圧	kPa	kPa	kPa	kPa	kPa	kPa
20	背圧弁確認（H1, H2）	Max圧：130kPa以下 Min圧：80～85kPa 保持圧：80kPa以上／3s	H1 Min圧 H2 Min圧	kPa	kPa	kPa	kPa	kPa	kPa
21	リリース弁確認（L）	Max圧（液圧0mmHg）：40～45kPa Min圧（液圧-350mmHg）：10kPa以上	Max圧	kPa	kPa	kPa	kPa	kPa	kPa
22	透析液温度	設定値±0.8℃							
23	濃度（電導度）	透析液サンプルの測定値±0.2mS/cm	装置表示 測定器表示	mS/cm	mS/cm	mS/cm	mS/cm	mS/cm	mS/cm
24	バランステスト（大気開放or透析液圧0mmHg）および透析液の流れ方向確認	ダイアライザーホース内の透析液の流れ方向確認 装置側接手(赤色)にエアが吸い込まれること ±5mL以内/10min（±10cm以内/10min φ8ホースの場合）		cm (mL)	cm (mL)	cm (mL)	cm (mL)	cm (mL)	cm (mL)

			号機	号機	号機	号機	号機
25	除水ポンプの吐出量	除水速度1. 20L/h 100mL±1mL以内 5min±3s以内	mL	mL	mL	mL	mL
26	漏血検出器電圧調整 調整番号「9. 1」 (緑)	1. 50～4. 50Vの範囲で2. 50Vに近づくように調整	V	V	V	V	V
	(赤)	1. 50～4. 50Vの範囲で2. 50Vに近づくように調整	V	V	V	V	V
27	気泡検出器電圧調整 (静脈側)	3. 0±0. 1V	V	V	V	V	V
	調整番号「13. 5-1, 2」 (動脈側) *0P	3. 0±0. 1V	V	V	V	V	V
28	血液ポンプ動作確認	カバー開→血液ポンプ停止					
	調整番号「13. 7」	すき間調整：各施設のチューブ径に合わせること					
	使用するしごき部径で確認する	φ8. 0選択：13±1s (5回転動作時) QB:200mL/min	s	s	s	s	s
		φ6. 6選択：9±1s (5回転動作時) QB:200mL/min	s	s	s	s	s
29	血液判別器電圧調整 (生食) 調整番号「11. 9」	3. 5～4. 0V	V	V	V	V	V
30	気泡検出器クランプ動作確認 調整番号「13. 2」	「静脈クランプ (制御、保護)」を押し、動作すること					
31	自動プライミング動作確認 調整番号「13. 2」 *0P	「自動クランプ (制御)」を押し、動作すること					
32	注入ポンプ 調整番号「13. 9」	IP注入完了報知のスイッチがONになること					
33	血圧計 カフ・カフホース	破損・漏れ・汚れがないこと					
	*0P 外部血圧測定スイッチ	ON表示になること					
	調整番号「19. 1-3」 漏れテスト	テスト結果が50mmHg以内	mmHg	mmHg	mmHg	mmHg	mmHg
	圧力確認テスト	0mmHg, 150mmHg, 300mmHg：指示値±6mmHg以内					
34	BV計調整 調整番号「20. 1, 2」 *0P	ゼロ・スパン・確認					

動作チェック (警報・報知)

35	バイパス警報	透析工程以外で、バイパス警報動作すること					
36	工程動作の確認	供給装置の工程と同じ工程動作をすること					
37	停電警報	電源プラグを抜いた時、停電警報動作すること					
	データ保持	画面表示の日付、曜日、時刻が現在と合っていること					
38	脱血圧警報 *0P	脱血圧警報動作すること					
39	ナースコール報知 *0P	ナースコール報知動作すること					

動作チェック (通常モード：洗浄→液置換→透析工程)

40	自己診断実施 (マイクロコンピュータ、血液系)	正常終了すること					
41	自己診断実施 (配管系)	正常終了すること					
42	ナトリウム濃度調整 調整番号「8. 1」 *0P	ゼロ調整：ナトリウム注入前の測定値入力	mEq/L	mEq/L	mEq/L	mEq/L	mEq/L
		スパン調整：ナトリウム注入後の測定値入力	mEq/L	mEq/L	mEq/L	mEq/L	mEq/L
43	接地漏れ電流 (JIS T 0601-1 19. 4 f)	0. 5mA以下 (500μA以下)	μA	μA	μA	μA	μA
44	非常運転用バッテリー	バッテリーにより血液ポンプが運転出来ること					
45	余液受け *0P	500mL/minで流し溢れないこと (使用時配置で実施)					
46	設定確認	作業前の設定になっていること					

洗浄・消毒

47	洗浄・消毒を行う	洗浄・消毒を実施する					
48	増し締め (袋ナット/ハウジング部)：熱水使用時は、その後実施	実施箇所は、保守点検マニュアル 第4章 定期的な保守・点検と保守交換部品 DCS-27/28 定期点検・交換項目 16. その他 参照					
49	異音・異臭・液漏れ・ひび割れなど	洗浄・消毒中に異音・異臭・液漏れがないこと					
		配管部品のひび割れ・変色などがないこと					

連絡事項：	上記作業完了を証明します。	検 収 者
	年 月 日	印

使用管理計測機器(保護導通試験器)：
使用管理計測機器(漏れ電流チェッカ)：
使用管理計測機器(メスシリンダ)：
使用管理計測機器(マノメータ)：
使用管理計測機器(圧力計)：
使用管理計測機器()：
使用管理計測機器()：

チェックリスト		客先名：		□保守点検 □消耗部品交換		実施日 年 月 日	
型式 DBB-27	Ver.	製造番号	①	②	③		
仕様確認： <input type="checkbox"/> 血圧計 <input type="checkbox"/> 余液受け <input type="checkbox"/> ナースコール <input type="checkbox"/> 自動プライミング <input type="checkbox"/> BV計 <input type="checkbox"/> 脱血圧検出器 <input type="checkbox"/> Na注入 <input type="checkbox"/> クリップ式気泡センサー <input type="checkbox"/> 通信 <input type="checkbox"/> DSB-05/06 <input type="checkbox"/> ダブルIP <input type="checkbox"/> ノズル洗浄ユニット							
*OP：任意仕様 <input type="checkbox"/> ダイアライザー血液入口圧							
次回実施予定日：		前回の実施日：		使用開始日：		関連装置：	
No.	項目		基準			① 号機	② 号機
③ 号機							
外観、予備品、付属品							
1	安全標識		装置の注意・表示ラベルが読みとれること				
2	ヒューズの状態		各ヒューズ問題ないこと				
3	ダイアライザーホースの状態		ホース、フィルタに汚れ・漏れ等ないこと 正しく接続されていること ・装置側接手(青色)とダイアライザーカップリング(青色) ・装置側接手(赤色)とダイアライザーカップリング(赤色)				
4	微粒子ろ過フィルタの状態		漏れ・汚れ等ないこと				
5	薬液注入ラインの状態		ホース、フィルタに汚れ・漏れ等ないこと				
6	給排水取付		ホースの折れが無く、確実に接続されていること				
7	電源ケーブル・工程信号(R0連動時)の状態		確実に接続され、傷・腐食等ないこと				
8	端子台の増し締め		電源・ヒータケーブル端子台のネジの緩みがないこと				
9	接地抵抗 (JIS T 0601-1 18. f)		電源プラグの接地刃と等電位接地端子間:0.2Ω以下 電源プラグの接地刃とヒータハウジング間:0.2Ω以下			Ω	Ω
10	装置背面フィルタの状態		汚れ・損傷のないこと			Ω	Ω
11	外部表示灯		調整モードにて、LED(4色)が順次点灯すること				
12	LCD、タッチパネル		LCD表示の文字が認識でき、スイッチが作動すること				
13	外装の確認		カバー等外装に破損がないこと				
14	付属文書など		必要な書類がすべて揃っていること(Verの一致等)				
指示値チェック(通常・調整モード)							
15	静脈圧	0mmHg(大気開放)	0±10mmHg				
		200±50mmHg	標準圧力計指示値±10mmHg				
16	ダイアライザー血液入口圧	0mmHg(大気開放)	0±10mmHg				
	※OP	200±50mmHg	標準圧力計指示値±10mmHg				
17	透析液圧	-200±50mmHg	標準圧力計指示値±10mmHg				
		+200±50mmHg	標準圧力計指示値±10mmHg				
		0mmHg(大気開放)	0±10mmHg				
18	給液圧	0mmHg(大気開放)	0±1kPa(±10mmHg)				
		約+26.7kPa(+200mmHg)	標準圧力計指示値±2kPa(±10mmHg)				
動作チェック(調整モード)							
19	減圧弁調整	Max圧:45~50kPa Min圧:10kPa以上		Max圧	kPa	kPa	kPa
20	背圧弁確認(H1, H2)	Min圧:80~85kPa		H1 Min圧	kPa	kPa	kPa
		Max圧:130kPa以下		H2 Min圧	kPa	kPa	kPa
		保持圧:80kPa以上/3s					
21	リリーフ弁確認(L)	Max圧(液圧0mmHg):40~45kPa		Max圧	kPa	kPa	kPa
		Min圧(液圧-350mmHg):10kPa以上					
22	バランステスト(大気開放or透析液圧0mmHg)および透析液の流れ方向確認	ダイアライザーホース内の透析液の流れ方向確認 装置側接手(赤色)にエアが吸い込まれること ±5mL以内/10min(±10cm以内/10min φ8ホースの場合)			cm(mL)	cm(mL)	cm(mL)
23	除水ポンプの吐出量	除水速度1.20L/h 100mL±1mL以内 5min±3s以内			mL	mL	mL
24	漏血検出器電圧調整	調整番号「9.1」	(緑)	1.50~4.50Vの範囲で2.50Vに近づくように調整	V	V	V
			(赤)	1.50~4.50Vの範囲で2.50Vに近づくように調整	V	V	V
25	気泡検出器電圧調整	(静脈側)		3.0±0.1V	V	V	V
	調整番号「13.5-1.2」	(動脈側)	*OP	3.0±0.1V	V	V	V
26	血液ポンプ動作確認	カバー開→血液ポンプ停止					
	調整番号「13.7」	すき間調整:各施設のチューブ径に合わせること					
		使用するしごき部径で確認する					
		φ8.0選択:13±1s(5回転動作時)QB:200mL/min		s	s	s	s
		φ6.6選択:9±1s(5回転動作時)QB:200mL/min		s	s	s	s
27	血液判別器電圧調整(生食)	調整番号「11.9」		3.5~4.0V(生食時:表示が緑になること)	V	V	V
28	気泡検出器クランプ動作確認	調整番号「13.2」		「静脈クランプ(制御、保護)」を押し、動作すること			

				号機	号機	号機
29	自動プライミング動作確認	調整番号「13.2」	*OP	「自動クランプ(制御)」を押し、動作すること		
30	注入ポンプ	調整番号「13.9」		IP注入完了報知のスイッチがONになること		
31	血圧計	カフ・カフホース		破損・漏れ・汚れがないこと		
	*OP	外部血圧測定スイッチ		ON表示になること		
	調整番号「19.1-3」	漏れテスト		テスト結果が50mmHg以内	mmHg	mmHg
		圧力確認テスト		0mmHg, 150mmHg, 300mmHg：指示値±6mmHg以内		
32	BV計調整	調整番号「20.1,2」	*OP	ゼロ・スパン・確認		

濃度調整（調整モード）

33	透析液温度			設定値±0.8℃		
34	濃度（電導度）			B液サンプルの測定値±0.1mS/cm	装置表示	mS/cm
					測定器表示	mS/cm
				透析液サンプルの測定値±0.2mS/cm	装置表示	mS/cm
					測定器表示	mS/cm
	原液番号（ ）（商品名： ）			B液濃度		mS/cm
				透析液濃度		mS/cm
	原液番号（ ）（商品名： ）			B液濃度		mS/cm
				透析液濃度		mS/cm
35	原液番号（ ）（商品名： ）			B液濃度		mS/cm
				透析液濃度		mS/cm
	原液番号（ ）（商品名： ）			B液濃度		mS/cm
				透析液濃度		mS/cm
	原液番号（ ）（商品名： ）			B液濃度		mS/cm
				透析液濃度		mS/cm
36	ナトリウム濃度調整	調整番号「8」	*OP	ゼロ調整：ナトリウム注入前の測定値入力		mEq/L
				スパン調整：ナトリウム注入後の測定値入力		mEq/L

動作チェック（警報・報知）

37	バイパス警報			透析工程以外で、バイパス警報動作すること		
38	停電警報			電源プラグを抜いた時、停電警報動作すること		
		データ保持		画面表示の日付、曜日、時刻が現在と合っていること		
39	脱血圧警報		*OP	脱血圧警報動作すること		
40	ナースコール報知		*OP	ナースコール報知動作すること		

動作チェック（通常モード：洗浄→液置換→透析工程）

41	自己診断実施（マイクロコンピュータ、血液系）			正常終了すること		
42	自己診断実施（配管系）			正常終了すること		
43	接地漏れ電流（JIS T 0601-1 19.5 f）			0.5mA以下（500μA以下）	μA	μA
44	非常運転用バッテリー			バッテリーにより血液ポンプが運転出来ること		
45	余液受け		*OP	500mL/minで流し溢れないこと（使用時配置で実施）		
46	設定確認			作業前の設定になっていること		

洗浄・消毒

47	消毒（商品名： ）			タンク濃度		
				希釈濃度		
	酸洗浄（商品名： ）			タンク濃度		
				希釈濃度		
48	薬液消毒部			薬液消毒動作が適切に行われること		
49	給水管熱水		*OP	DBB-RO装置（給水管熱水が正常に行われること）		
50	洗浄・消毒を行う			洗浄・消毒を実施する		
51	増し締め（袋ナット/ハウジング部）：熱水使用時は、その後実施			実施箇所は、保守点検マニュアル 第4章 定期的な保守・点検と保守交換部品 DBB-27 定期点検・交換項目 18.その他 参照		
52	異音・異臭・液漏れ・ひび割れなど			洗浄・消毒中に異音・異臭・液漏れがないこと		
				配管部品のひび割れ・変色などがないこと		

連絡事項：	上記作業完了を証明します。	検 収 者
	年 月 日	印

使用管理計測機器(保護導通試験器)：
使用管理計測機器(漏れ電流チェッカ)：
使用管理計測機器(マシシタ)：
使用管理計測機器(マノメータ)：
使用管理計測機器(圧力計)：
使用管理計測機器()：
使用管理計測機器()：